

にのへ市議会だより

議員定数特集号

平成 27 年 3 月 16 日発行

定数 4 減の 18 名へ！

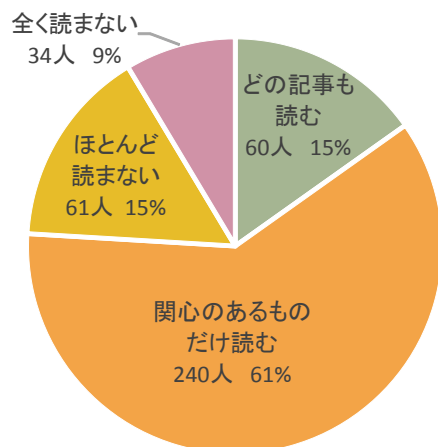
議員定数を考える会



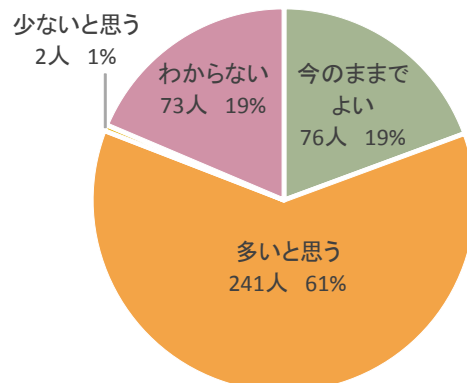
1 月 21 日に開催された臨時会において、議員発議により議員定数改定の条例改正案が提出され、賛成 17 名、反対 3 名で可決されました。

- 2 アンケート結果
- 4 議員定数を考える会
- 5 特別委員長報告・討論
- 6 特別委員会の活動内容

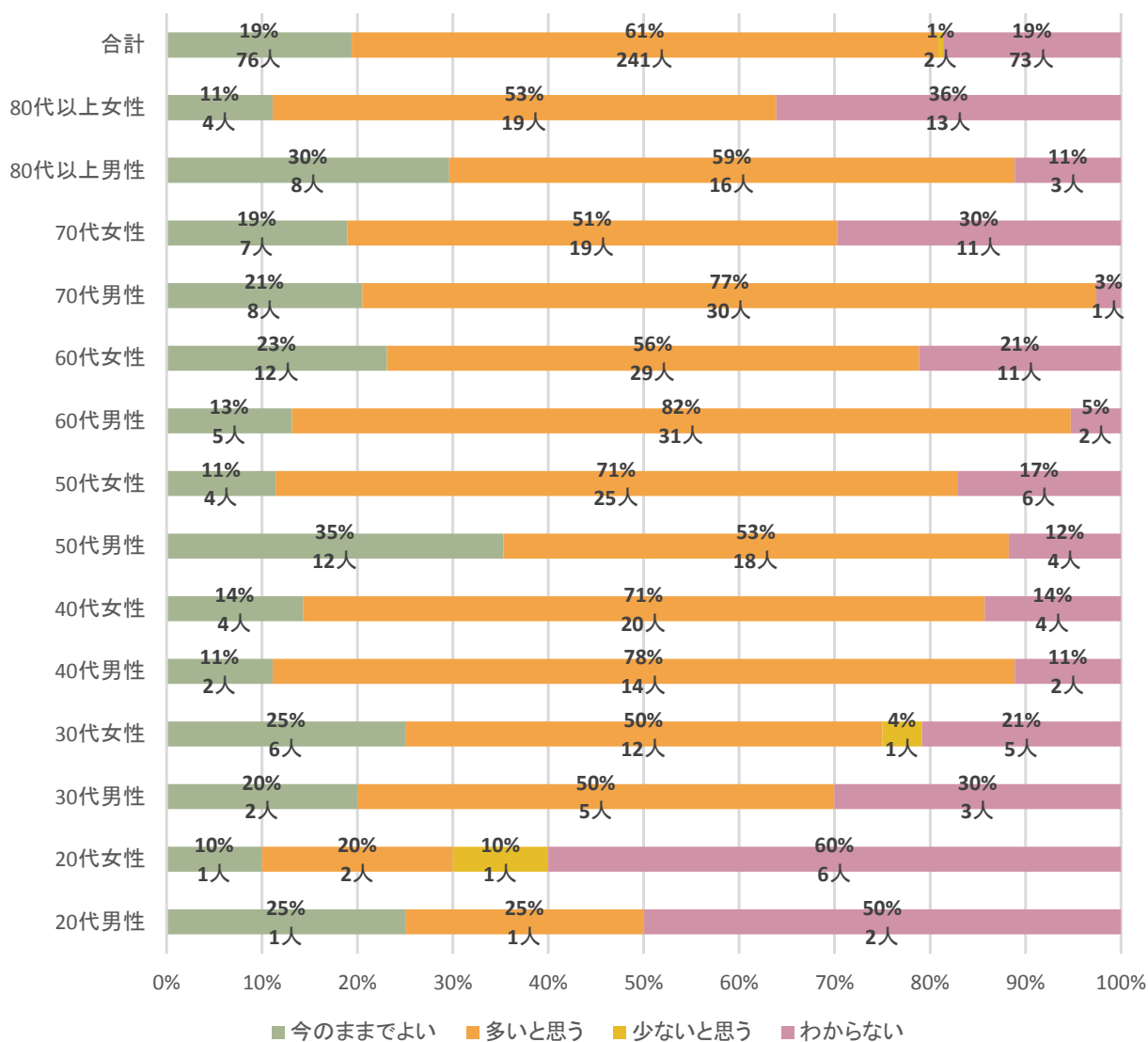
「市議会だより」を読んでいますか。



現在の議員定数は22人です。議員数についてどう思いますか。



問7 現在の議員定数は22名です。議員数についてどう思いますか。(年代・男女別)



※複数回答や未回答があるため、合計が合わないことがあります。

ご協力ありがとうございました。

二戸市議会に関するアンケート調査集計結果

1 調査の方法

(1) 調査対象

二戸市選挙管理委員会選挙人名簿から 1,000 名を無作為抽出（個人情報保護のため送付名簿は発送後破棄）

(2) 調査期間

平成26年11月1日(土)～平成26年11月20日(木)

(3) 調査方法

ア 無記名調査

イ 郵送により調査用紙発送

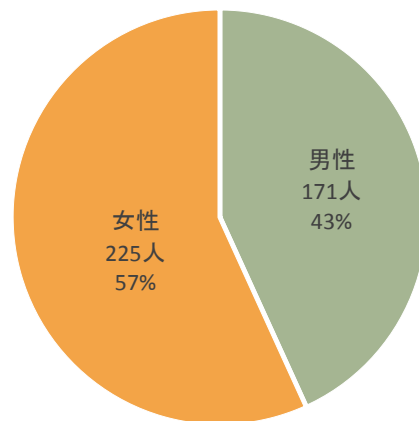
ウ 同封の返信用封筒にて返信

2 回答の状況

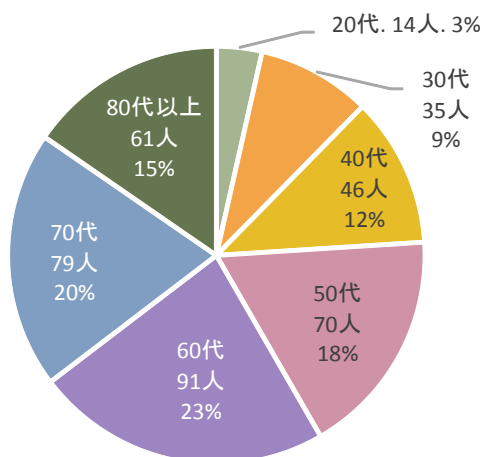
(1) 回答数 396 人

(2) 回答率 39.6%

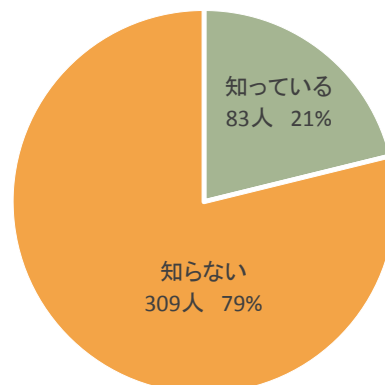
あなたの性別を教えてください。



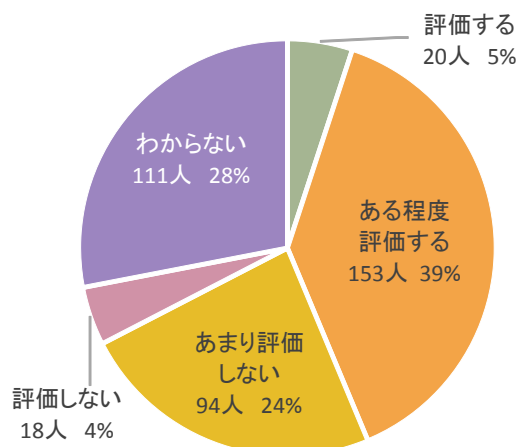
あなたの年代を教えてください。



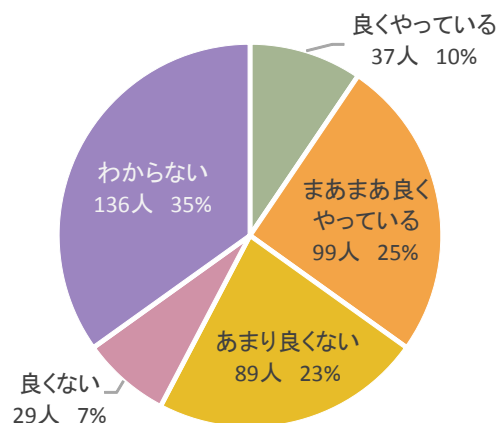
「二戸市議会基本条例」ができたことを知っていますか。



現在の二戸市議会を評価しますか。



議員の活動に対してのあなたの印象を教えてください。



議員定数を考える会

平成 26 年 12 月 2 日（火）、二戸市シビックセンターにおいて「議員定数を考える会」が開催され、8 名の方からご提言をいただきました。提言の要旨は下記のとおりです。

なお、提言者には、県内各市の議員定数（平成 26 年 5 月 15 日現在）を参考資料として事前に配布しました。

二戸市商工会

専務理事 生内 雄二 氏

削減すべき

人口は確実に減っていき
ます。小さなエリアで少
い人数に支えられる議員が
全体の中での発言力を強く
持つことは間違っています。
支持者の数を多く取れる仕
組みが必要です。他市の人
口に対する議員数の割合か
ら考えても議員は削減され
るべきだと思っています。

カシオペア青年会議所

理事長 田家 亘 氏

削減すべき

カシオペア青年会議所は、
創立以来議員定数削減を声
に出してきています。二戸
市は他市と比べ、市民一人
当たりの議員の割合が大き
いので、削減すべきと考え
ます。人口規模の近い遠野
市では 20 名ですが、これ
よりも先んじるのが良い
と思います。

二戸市女性教育連絡協議会

会長 荒川 愛子 氏

定数より仕事をできる方を

社会は少子高齢化が進ん
でいくので、常に市民を第
一に考える議会あつてほし
いと望みます。また、将来
を担う子どもたちが夢と希
望が持てる支援や、若者や
働くお母さんに耳を傾ける
議会であれば、定数より仕
事ができる方、まじめを望
みます。

岩手県連合会東北地域協議会

副議長 加藤 聡 氏

削減せざるを得ない

その考えに至るには 3 点
の考えがございます。1 点
目は財政面です。2 点目は
人口減です。3 点目は社会
的観点からです。これは釜
石市、大船渡市、遠野市、
滝沢市などでは現在定数が
20 人です。同規模の二戸市
での 22 名は若干多いのでは
と考えます。

4Hクラブ浄法寺地区

代表 馬場 淳 氏

議員定数は現状維持で

今後の地域社会を考えた
とき、地域の課題はますま
す増えていくと思います。
地域の代弁者である議員の
定数が減ると、市民の声が
反映されにくくなるのでは
ないかと考えます。今より
もっと現場に足を向けて市
民の声を吸い上げ、活躍し
てほしいと願っています。

浄法寺地区地域審議会

委員 佐々木 千穂 氏

現状の定数維持を望む

人口減少はあっても、地
域課題が減っているのか、
課題を持つ人が減るのか、
この地域が何を目指してど
ういけばいいのか、それを
議論する場に少しでも多く
の市民の声を届けてもらい
たいと考える立場から現状
の定数で議会を行っていた
きたいと思います。

一般公募

大道 篤史 氏

拙速に削減を進めないでほしい

議員削減については、財
政問題から考えるのではな
く、様々なところに住んで
いる市民の声を最大限に吸
い上げることを第一に考え
ながら定数の問題について
語られるべきである。やは
り議員は、足を使って地域
を見て声を吸い上げること
が大事な仕事だと思います。

一般公募

小田島 正幸 氏

定数の増員をすべき

市民の切実な要望である
請願等が不採択になること
があります。一般社会と
議員に相当なずれがあるよ
うに見受けられます。市民の意
思がどのあたりにあるか、
議員数をさらに増加して大
いに論戦を交わすべきでは
ないかと思えます。市民は
議員の皆様が頼りなのです。

議員定数調査検討特別委員会 より調査検討結果を報告

1月21日に開催された平成27年第1回臨時会において、議員定数調査検討特別委員長より報告がなされました。報告では、委員会の検討経過や「議員定数に関する市民アンケート」、「議員定数を考える会」の結果を説明し、最終的には、全委員が所属する各会派の考え方を明らかにし、議長を除く全議員の定数に関する考え方を集約した「定数18」、「定数20」「現状維持」の3案が示されました。「議員定数」という議会の基本的ルールの重要性を考えたとき、委員会採決による決定はなじまないとの判断により、委員会では出された意見をもって報告としました。

議員定数調査検討特別委員長からの報告を受け、休憩中の協議が提出されました。休憩中の協議により「定数18」の案にしばらく、条例改正案が議員発議によって提出され、質疑、討論、採決の結果、原案のとおり可決されました。

賛成と反対

反対

田口一男 議員
改選期のた

びに定数減が論じられ、他市と歩調を取る、市民感情を削減理由に挙げているが、削減で報酬の減額分が市財政や市民に生かされたか、人口減少に見合った議員減少だけに目が向き、削減の検証もされず議員自ら身を切るが枕詞に使われている。削減は少数意見が議会に反映されにくく、市政の無関心層を増加させ、さらに県内下位の低投票率をさらに助長する。市民に日常関わっている市議会議員だからこそ、市民に寄り添った住みよいまちづくりの施策を提言できるので、定数削減に反対する。

賛成

國分敏彦 議員
私は、議員

定数削減について、賛成の立場で討論する。1つには議会改革、議会の活性化は少数精鋭で質の高い議員を目指すことは基本的な考えで、将来を担う議員については市政全般に知識や課題を持ち政策本位の議員が求められており、議会において明確な理念と政策の実現、次に地域代表ではなく、二戸市全体を見る、議員の資質を高め、今後、広い視野で行動しなくてはならない。今後、二戸地域にリーダーシップを発揮しなくてはならない。以上の観点から、この条例改正に賛成をする。

反対

畠中泰子 議員
議員定数は

民主主義にかかわる重要問題であり、議会の根幹に触れる重要事項。議会の機能は市民に代わって市の重要な意思を決定し、進路と運営の基本を決定すること、市民の意向を反映させることを基本理念とし、その機能が十分発揮できる議員定数を確保しなければならぬ。今日の地方行政運営は複雑、高度化し、都市と地方の格差、格差と貧困の拡大など課題は多様化、増大しており、一層の議員活動の活性化と議会の権能の積極的行使のために努力をすべきであり、議員定数の大幅削減には反対する。

賛成

田中勝二 議員
私が議員に

なつて4回目の議員定数削減である。1回目は2期目の27人から20人に削減そして浄法寺町との合併後の34人から24人となり、次の改選時には22人に削減しさらに今回は18人に削減する提案である。二戸市議会とすればよほどの人口減がない限り、この辺がぎりぎりではないかと思う。また、二戸市と同じくらいの人口規模である遠野市が、定数を18人としたというところである。よって、我々も議会改革の一環として議員定数を18人とすることに、賛成したい。



鈴木忠幸 議員
議員定数と

いう間接民主主義の最も根幹に関わる問題を、議員改選まで6か月しかない時に決めることは削減が現状維持かという以前に問題だと思う。削減の理由として、「人口減少」、「他市の動向」、「少数精鋭」ということが言われるが、4年間での二戸市の人口減少は約600人で僅かである。また中山間地域が多く、特に浄法寺地区は、住民の声が届きにくくなると思う。また、定数削減イコール少数精鋭という保障もどこにもない。

以上のような理由から、現状維持が私の考えである。



及川正信 議員
議会の定数

を考える場合、機能が果たされるかどうかの観点が極めて大事である。

つまり、市民の要望を的確に捉え、議会ですれを実現の方向で議論すること、更には常任委員会が詳細に審議できる態勢にあることが求められる。

18名定数に削減しても本会議は勿論、6名ずつの常任委員会も審議に全く支障がない。むしろ議員が資質向上に励むことが大事であり、市民協働などをいただくためには議会も一定の痛みをこらえることが道理であると考え、賛成するものである。

賛否の公表

議席 番号	議員名	賛否
1	高村 人司	○
2	駒木 昇	○
3	田村 隆博	○
4	内沢 真申	○
5	米田 誠	○
6	田口 一男	×
7	菅原 恒雄	議
8	田代 博之	○
9	西野 省史	○
10	小笠原 清晃	○
11	三浦 利章	○
12	清川 明彬	欠
13	鷹場 美千雄	○
14	畠中 泰子	×
15	田中 勝二	○
16	大沢 孫吉	○
17	國分 敏彦	○
18	岩崎 敬郎	○
19	田口 一	○
20	新畑 鉄男	○
21	及川 正信	○
22	鈴木 忠幸	×

※議長は採決には加わりません。
※議長は議長、○は賛成、×は反対、欠は欠席

議員定数調査検討特別委員会の開催日、主な協議事項等

- 【第1回】平成26年6月24日（火）正副委員長互選について
- 【第2回】平成26年8月7日（木）今後のスケジュールについて
- 【第3回】平成26年8月25日（月）スケジュールの確認について
- 【第4回】平成26年9月2日（火）スケジュールの確認について
- 【第5回】平成26年9月3日（水）委員長辞任、正副委員長互選について
- 【第6回】平成26年9月17日（水）アンケート用名簿の作成について
- 【アンケート調査】
- 【第7回】平成26年11月1日（土）～20日（木）パブリックコメントについて
- 【第8回】平成26年11月25日（火）アンケートの集計について
- 【議員定数を考える会】
- 【第9回】平成26年12月2日（火）アンケート調査、提言の結果について
- 【第10回】平成26年12月16日（火）設置期間の延長について
- 【第11回】平成26年12月18日（木）各会派の意見のまとめについて
- 【第12回】平成26年12月24日（水）委員会の意見と報告書について

編集後記

今回の特別号は、市民の皆様には議員定数削減の経緯を出来るだけ早くお伝えしたいという思いで発行いたしました。紙面の関係で伝えきれない部分があると思いますが、ご了承いただきますようお願いいたします。

また、突然のアンケートにご協力をいただきました皆様や、お忙しい中「議員定数を考える会」にご提言いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

議会だより

編集委員長